

音戸中学校校区授業モデル

学習過程(児童・生徒が主語)	指導上のポイント (教師が主語)
<p>1 今までの学び 振り返る</p> <p>2 めあて 課題をつかむ</p> <p>R8 重点課題</p>	<p>○本 授業開始5分間(国・算・数・英・理・社) ○本 「確認タイム」を全職員で</p> <p>主体的な学びへ ファシリテート</p> <p>・「めあて→Q, まとめ→A」になるように問いの形で設定 ・児童・生徒の疑問や感想をもとにつくっていく ・考えたい内容を課題とする</p> <p>(例)一次感想をまとめ、対立意見から読みの課題を設定する。 既習事項とのずれから課題を設定する。【比較(視点を見出す比較)】 「やってみたい」という児童・生徒の興味・関心をもとに、課題を設定する。</p>
<p>見通しをもつ</p> <p>3 自分の考えを持つ。 考えをもつ</p>	<p>○内容と方法【比較・分類・関連付け(類推)】</p> <p>・既習事項との関連を図りながら、自分の考えを持たせる。個人思考 ・【関連付け(類推, 演繹的, 統合的)】書く, ・ペア・グループで意見を出し合うなどして、全ての児童・生徒に考えを持たせる。【自己決定】</p> <p>(例) 選択肢を設ける。 自分の考えを持たせる際、誤答も認めることを大切にしていく。 必然性のあるタブレット端末等の思考ツールの活用</p>
<p>4 学び合い 学び合う(広げる・深める)</p> <p>話す側</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞く人を意識した発言 ・話型を活用 	<p>○必然性や意図のあるペアトーク・グループ討議【自己存在感】</p> <p>・視点を与える。【比較(検討, 吟味)】, タブレット端末等の活用</p> <p>聞く側</p> <ul style="list-style-type: none"> ・反応しながら聞く(返事) (賛成・反対・わからないを伝える, うなずく・首をかしげるなど) ・質問する ・自分の考えと意見を比べて聞く 【関連付け(順序, 帰納的, 演繹的, 追加等)】 <p>つなぎ発言【共感的な人間関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・～ですね ・ここまではいいですか ・例えば～ ・質問があります ・賛成です/反対です。わけは、～だからです。 <p>安全・安心な 風土の醸成</p>
<p>考えを広げる, 深める → もう一度自分の考えを見直させたり, 意見に自信を持たせたり, 付け加えさせたりすること, もう一度課題に対して考えてみることで, 学習が深まる!!</p>	
<p>4 まとめ まとめる</p>	<p>「めあての答え」になるように, 児童・生徒の言葉を用いながら書くようする。徐々に自分の力でまとめを書けるようにしていく。</p>
<p>5 評価・習熟問題 (教科・内容による)</p>	<p>目標が達成できているか評価 より「できる」ためにできるだけ多くの問題に取り組ませる。</p>
<p>6 振り返り 振り返る</p>	<p>○授業を通して, 自分の変容が分かるような内容を書けるようにする。</p> <p><振り返りの視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の意見で参考になったこと ・自分が考えたことや思ったこと ・生活の中で生かしたいこと【関連付け】 ・次にやってみたいこと ・できるようになったこと ・次の学習で生かしたいこと ・[なぜ]と思ったこと など